

地域密着型金融の取組み状況（平成26年4月～27年3月）

項目	取組み内容	成果（効果）	27年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題																																				
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮																																							
コンサルティング機能の発揮																																							
<p>顧客企業との日常的・継続的な関係の強化及び顧客企業のライフステージ等に応じたソリューションの提案</p>	<p>①平成26年度も、大阪府信用組合協会主催の研修会等へ職員を積極的に派遣したほか、各営業店に対してもOJTによる実践指導等の積極的な取組みを求めるなど、人材育成の重要性の認識の下、職員のコンサルティング能力の育成に本支店一体となり取組んでおります。</p> <p>[外部研修参加実績]</p> <table border="1" data-bbox="336 470 1041 774"> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度</th> <th>25年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・イントロダクション簿記財務研修会</td> <td>6名</td> <td>(3名)</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>・コンサルティング型融資技術習得研修会</td> <td>2名</td> <td>(3名)</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>・渉外担当者基本研修会</td> <td>5名</td> <td>(4名)</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>・金融法務研修会(融資編)</td> <td>2名</td> <td>(8名)</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>・税務研修会</td> <td>6名</td> <td>(3名)</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>・融資渉外研修会</td> <td>4名</td> <td>(3名)</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>・中小企業の融資推進強化研修会</td> <td>4名</td> <td>(3名)</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>・営業マネジメント研修会</td> <td>3名</td> <td>(26年度より実施)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>[内部研修等]</p> <p>若年の渉外職員を(入組2～6年)を対象にした本部での体系的な集合研修態勢を導入するとともに、業務部に教育指導担当者等を配置して指導態勢を構築しております。</p> <p>教育指導担当者は、定期的に営業店を臨店し実地による教育指導を実施しております。</p> <p>[土曜研修会等の実施] (本部組織が主催する自由参加型)</p> <p>業務を遂行していく過程で必要となる知識の習得については、各職員が自主的に知識の習得に努めてはいるが、単独での知識の習得には限界があるとの職員からの要望を受け、22年11月より実施しています。</p> <p>26年度は2回開催し、各回約80名の職員が知識を習得するため自主的に参加しました。</p> <p>[ビジネスモデル研修会]</p> <p>融資店舗から人選された副長、次長10名を対象に、平日、土曜日を含め計6回にわたり「ビジネスモデル研修会」を実施しました。当研修会は「新事業創設のためのビジネスモデル構築法」を学ぶことにより、今必要とされている顧客に対する経営改善・改革についての実践的な支援能力を身に付けるもので、中小企業診断士の外部講師2名を招いて座学研修に加え取引先企業を事例にOJTを実施し、基礎から応用まで幅広くスキルの習得に努めました。</p>		26年度	25年度	24年度	・イントロダクション簿記財務研修会	6名	(3名)	2名	・コンサルティング型融資技術習得研修会	2名	(3名)	2名	・渉外担当者基本研修会	5名	(4名)	8名	・金融法務研修会(融資編)	2名	(8名)	4名	・税務研修会	6名	(3名)	2名	・融資渉外研修会	4名	(3名)	2名	・中小企業の融資推進強化研修会	4名	(3名)	2名	・営業マネジメント研修会	3名	(26年度より実施)		<p>左記の研修をはじめ、全銀協が主催する研修にも職員を積極的に参加させておりますが、営業店の中には、融資知識の習得に向けた積極的な姿勢の職員が増加傾向にあります。若手職員の知識、スキルの向上に向けたこれらの施策を維持することで、組織全体のレベルの底上げに繋がるものと考えております。</p>	<p>融資渉外研修等の効果は、若手職員を中心に徐々に顕在化してきており、この機運を大切にしつつ、融資部や融資戦略チームとの連携を図るとともに、OJT等による実践力を高めながら、今後とも人材の育成を強化してまいります。また、さらなるスキルアップを図るため、職員個々の能力及び習熟度に応じた研修体系の構築に努めます。</p>
	26年度	25年度	24年度																																				
・イントロダクション簿記財務研修会	6名	(3名)	2名																																				
・コンサルティング型融資技術習得研修会	2名	(3名)	2名																																				
・渉外担当者基本研修会	5名	(4名)	8名																																				
・金融法務研修会(融資編)	2名	(8名)	4名																																				
・税務研修会	6名	(3名)	2名																																				
・融資渉外研修会	4名	(3名)	2名																																				
・中小企業の融資推進強化研修会	4名	(3名)	2名																																				
・営業マネジメント研修会	3名	(26年度より実施)																																					

地域密着型金融の取組み状況（平成26年4月～27年3月）

項目	取組み内容	成果（効果）	27年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題
	<p>②大阪府信用組合協会加盟6信組の共同によるビジネスマッチングの取組み</p> <p>③一般業種の新規貸出先の推進 前年度までは、医療・介護事業者向け商品「大同メディカル・ケア・ローン」、「大同ホスピタル・ケアホーム・ローン」により、新分野での資金ニーズ発掘のきっかけ作りとして強かに推進を行うとともに、職員の医療・介護業界の知識を向上させる研修、試験の実施など、戦略的な活動を行ってききましたが、取扱開始後2年以上が経過し、各営業店のセールス活動も一巡し、職員の意識及び知識等が向上したことから、26年度からは、医療・介護事業者を含めた一般業種の新規貸出先の推進に取組んでいます。</p> <p>④経営改善支援の積極的な取組み 財務内容の改善や資金繰り等についてのアドバイスを適切に行うことにより、債務者区分のランクアップを図るなど、前年度に引続き経営改善支援の積極的な取組みを実施しました。</p>	<p>大阪府信用組合協会加盟6信組の共同による第8回異業種交流会を開催しました。 開催日：平成26年11月27日 参加企業：30社（65名） ブースでの出展型のビジネスフェアを実施</p> <p>一般業種の新規貸出先の獲得実績 26年度 109軒 7,719百万円 25年度 109軒 5,541百万円 24年度 145軒 7,500百万円 23年度 160軒 8,069百万円 22年度 160軒 6,366百万円</p> <p>経営改善支援の積極的な取組みについては、26年度対象120先中において、債務者区分のランクアップが図れた先は、4先となりました。</p>	<p>参加企業は、交流会場で活発な情報交換を行い、また交流会後においても参加企業間で情報交換が行われております。 今後の課題として、これらの参加企業間の商談が1件でも多く繋がるよう出来る限りの工夫・サポートが必要と考えます。</p> <p>20年度に立ち上げた「融資戦略チーム」による継続的な融資推進策や臨店指導のほか、業績表彰基準の見直し等により、一般業種の新規貸出先の推進に対する職員の意識変革を促しております。 今後とも、当該取組の実効性を高めるため、引続き「融資戦略チーム」による臨店指導等を強化するとともに、融資研修等に職員を積極的に参加させるなど、目利き能力の向上に努めてまいります。</p> <p>24年5月本部に設けた「出口戦略対策室」による臨店指導等継続的な支援体制により、中小零細企業の経営改善支援に積極的に取組んでまいります。</p>

2. 地域の面的再生への積極的な参画

地域活性化につながる積極的な参画			
<p>地域活性化につながる多様なサービス</p>	<p>地域の一員として、地域行事等への積極的な参加 地域の一員として、地域行事等へ積極的に参加・協力することで、地域の皆様とのふれあいをもっと深めるように努めています。</p> <p>〔地域の行事参加実績〕 ・城東支店 地元町会お花見参加 ・守口支店 商工会主催の融資相談会の実施</p>	<p>地域の活性化に関する会議や行事等に積極的に参加することで、地域の情報の蓄積及びお客様との持続的な取引に繋がるものと考えております。</p>	<p>経営方針に「地域との共生」を掲げているとおり、引続き積極的に参画してまいります。</p>

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

地域密着型金融の取組み状況（平成26年4月～27年3月）

項目	取組み内容	成果（効果）	27年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題
<p>積極的な情報発信</p> <p>身近な情報提供・経営改善・相談等に対する機能の強化及び貸出に留まらない地域に対する多様な金融サービスの提供</p>	<p>①利用者の目線に立った積極的な情報提供及び相談機能の充実 26年度も25年度に引続き、各営業店（4カ店）に社会保険労務士を派遣して、年金に係る無料相談会を実施しました。</p> <p>②情報発信の一環として、大阪府信用組合協会加盟の信用組合と共同でビジネスサポート活動を行っております。26年度も、8月に情報誌「しんくみビジネスサポート」第8号を発行したほか、第8回異業種交流会を開催しており、好評を得ております。</p> <p>③充実した分かりやすい情報開示の推進 毎年、7月に発行しているディスクロージャー誌をはじめ、11月に発行しているミニディスクロージャー誌については、利用者の皆様に分かりやすくをモットーに、カラー刷りならびに事業実績等の図表化したものを拡大表示するなど工夫を重ね情報開示を行っております。 また、ホームページについては、ホットな情報をタイムリーに掲載しているほか、ユーザーの利便性の向上を図るため、適宜見直しを行っております。</p> <p>④利用者の満足度を把握するためのアンケート調査及び改善・アンケートに基づく改善事案等の発表</p> <p>⑤26年度も、社会貢献の一環として平成18年度から実施している大阪大学大学院医学系研究科に対する研究助成金を交付しました。</p> <p>⑥産学連携への取組み 一般社団法人全国信用組合中央協会との連携により、大学教育を通じて、地域社会の発展と人材育成を図るため、積極的に産学連携活動の取組みを行っております。</p>	<p>無料年金相談会については、年金世代の方の取引が多いこともあって、利用者の方々から好評を頂きました。</p> <p>府下信用組合の共同によるビジネスサポート活動については、情報誌「しんくみビジネスサポート」の発行や異業種交流会の開催等において、お客様同士による熱心で積極的な交流が行われており、多くのお客様から継続的に実施することを要望されています。</p> <p>ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌を分かりやすく工夫したほか、ホームページについても、ホットな情報をタイムリーに掲載するなど、適宜見直しを行ったことから、ユーザーの利便性が向上しました。</p> <p>26年度も25年度に引続き、利用者の満足度を把握するため、お客様340先にアンケート調査を実施しました。</p> <p>当研究科はガンへの免疫を高めるワクチンの研究に精励しており、「第4の治療法」として期待されています。</p> <p>毎年、「地域金融の重要性と信用組合の役割」をテーマに当組合理事長による講義を実施することとしています。この講義は学生にとって、大学で学ぶことの出来ない貴重な体験であり、毎回、学生からの高い評価を頂いております。</p> <p>26年度実績 ・26年6月10日 四国学院大学 ・27年2月12日 阪南大学</p>	<p>無料年金相談会は、今後とも引続き実施してまいります。</p> <p>府下信用組合の共同によるビジネスサポート活動は、今後も継続実施に向けて協会等に働き掛けを行うとともに、積極的に支援してまいります。</p> <p>ホームページやディスクロージャー誌等については、利用者の目線に立って、見やすく分かりやすい内容となるように、不断の努力を行ってまいります。</p> <p>お客様の要望に対して的確かつスピーディーに応えられるように、お客様に満足頂ける体制作りに努めてまいります。</p> <p>手術、放射線治療や抗ガン剤による科学治療を受けにくい高齢者の方々に役立つ研究として期待しています。</p> <p>産学連携への取組みを継続的に行うために、24年6月から本部に「産学連携企画チーム」を設置し、より積極的な取組みに努めてまいります。</p>